

日本陸水学会 第84回大会 (金沢大会)  
一般用講演要旨 執筆要領

**1. 講演要旨原稿の形式**

- 1) 原稿は、PDFファイル(こちらを推奨)あるいはMicrosoft Word (.docxまたは.doc形式) で作成して下さい。
- 2) 印刷又は手書きの原稿はご遠慮下さい。
- 3) 用紙のサイズは、A4版に限ります。
- 4) 原稿枚数は、1演題につき1枚です。
- 5) 講演要旨はJ-STAGEでWeb公開する予定です。公開を希望されない方は、講演申込み時にその旨ご指示下さい。

**2. 講演要旨原稿の作成方法**

- 1) 要旨原稿の作成は、次頁の例に従って執筆下さい。特に、余白の大きさ、文字のフォント及びポイントに十分ご注意下さい。大会ホームページ (<http://www.jslim84.jp/>) より講演要旨の雛形ファイルをダウンロードして利用されることを推奨します。
- 2) 用紙 (A4) は必ず、上20mm、下25mm、左右20mmの余白を取り、その枠内に文書と図表を収めて下さい。
- 3) 講演番号を記入するため、1～4行目は左側40mmを必ず空白にして下さい。
- 4) 演題、氏名、所属は上から6行以内に記入し、演題と演者は講演申し込み時のもの (B票) と必ず同一にして下さい。
- 5) 演題はMSゴシック (13ポイント) を指定して下さい。
- 6) 氏名と所属はMS明朝 (10ポイント) を指定して下さい。連名の場合は、演者の氏名の左肩に (\*) 印を付けて下さい。連名者が多い場合は、所属毎に改行せずに続けてご記入下さい。
- 7) 本文は2段組とし、「はじめに」「材料と方法」「結果」「考察」の4項目に分け、それぞれの文頭にこれらを小見出しとして明示して下さい。研究内容により上記4項目に分け難い場合は、項目の一部をまとめて、または省略しても構いません。
- 8) 小見出しは必ずMSゴシック (10ポイント) を指定して下さい。
- 9) 本文の日本語はMS明朝 (10ポイント)、英数字はTimes New Roman (10ポイント) を必ず使用して作成して下さい。
- 10) 特殊なフォント、外字などを使用する際はご注意下さい。特に、Macintosh等をご利用の方は、Windowsパソコンから印刷して文字化け等がないことをあらかじめ十分にご確認下さい。
- 11) 記号や略号などは、「陸水学雑誌」投稿規定に従って下さい。
- 12) 図表を載せる場合には、小さな文字や図は避けて下さい。JSLIM84実行委員会では、図表や写真に関して特別な処理は行いません。
- 13) PDFファイル(こちらを推奨) あるいはMicrosoft Word (.docxまたは.doc形式) で講演要旨を保存して下さい。

要旨雛形 (一般用)

空欄

← 40mm →

余白 20mm

金沢の陸水と沿岸環境

MS ゴシック 13ポイント

\* ○○○○ (□□□大・教育), △△△△ (□□□研究所)  
◇◇◇◇ (□□□大・農学), ◎◎◎◎ (□□□大・理)

MS 明朝 (右揃) 10ポイント

1. はじめに

□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□

小見出し : MS ゴシック 10ポイント

余白 20mm

2. 材料と方法

□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□

本文 : MS 明朝 Times New Roman 10ポイント

余白 25mm

3. 結果

□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□

余白 20mm

4. 考察

□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□

8mm

用紙 : A4